

令和4年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和4年4月25日（水曜日）

○日時 令和4年4月25日 午後0時26分開会

○場所 議場

○議件

1. 所管事務調査について

①一般廃棄物処理について

1) 今後の所管事務調査の進め方について

○出席委員（6名）

委員長	松浦敏司
副委員長	近藤憲治
委員	石垣直樹
	金兵智則
	澤谷淳子

○欠席委員（1名） 工藤英治

○議長 井戸達也

○委員外議員（0名）

○傍聴議員（4名）

永本浩子
古田純也
村椿敏章
山田庫司郎

○事務局職員

事務局長	林幸一
次長	石井公晶
総務議事係長	法師人絵理
総務議事係	早渕由樹
総務議事係	山口諒

午後0時26分開会

○松浦敏司委員長 ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会には、工藤委員から欠席の届出がありましたので御報告いたします。

本日の委員会ですが、所管事務調査についてであります。

今後の所管事務調査の進め方についてということ

で、4月14日に行いました委員会にて、参考市町村への視察や、講師を招いての勉強会、あるいは議員全員での取り組むべきことなどの意見を頂いたところであります。

この間、正副で協議をしましてまいりました。

それについて、副委員長のほうから報告していただきたいと思っておりますので、よろしいでしょうか。

○近藤憲治委員 それでは私のほうから、前回の当委員会での協議を踏まえて、今後この文教民生委員会の中で、次の、ごみの処理の在り方、それから現行の最終廃棄物処分場の延命の仕方、さらには、市民の皆さんに今お願いをしている分別の仕方が、どう変わっていくべきなのかみたいなことをですね、調査をしていただかなければならないという点については、前回、各委員からお話をいただいたところであります。

大きく分けて、二つの論点を調査していただかなければならないと。

一つは、網走市が今やっている処分方法をどのように変化させていくのが望ましいのか。

あわせて、最終処分場の、今、かなり危機的な状況にありますので、それをどう延命を図っていくのかという部分です。

そして、もう1点が広域化、これは初めて行っていくわけでありまして、どういった手順で、また注意すべき点をどういうところなのかという知見を、委員の皆さんで共有する必要があるだろうというのが、前回の御議論の中から明らかになってきております。

そういった点で申し上げますと、まず一つは、広域化の手順や注意点、見極めるべき点の経験的知見、これは北海道内含めて、各地域で複数市町村による、廃棄物処理は行われてきていますので、そういった広域化を進めるに当たって、何を用意しなければならないのか、そしてどう工夫するとうまくいくのかというのを、当委員会としてもしっかりと調査をしていく。これは実際に経験をされている地域があるわけですので、講師をお招きする、またはオンラインでも結構ですけれども、そういった調査をまず一個行うべきであるということです。

もう一つが、中間処理に焼却を導入するのかしな

いのかというのも、後々の大きな論点になってくるかと思えます。

既に、想定している規模というのは、当委員会にも示されているわけなのですけれども、それが適正なのかどうかというのは、また今後の議論はあるかと思えますが、類似の焼却炉を有している自治体、広域ですけれども、周辺にもございますので、実際に現地に赴いてどのような運用がなされているのかを含めて、その焼却という中間処理方法についての理解を深めていくという取組も必要かと存じます。

あわせて、こちらは工藤委員から提案いただいた部分で、もう一つの論点ですね、現行の最終処分場をどう延命していくのかという部分の論点についての調査なのですけれども、実際にあと四、五年というのが、オフィシャルな発表ではあるのですけれども、これをより長く使わないと、広域と中間処理の議論というのを深めていく時間的猶予がございませんので、工藤委員からは複数の手法について提案もございましたけれども、現在の明治の最終処分場が、具体的にどのような方法だったら延命が図れるのかというものも、調査を含めて進めていく必要があるというふうに考えております。

ですので、広域と中間処理をどうするのかという、調査を深めていくという流れが一つと、あと現行の最終処分場をどのように延命していくのかという調査ですね。

これは処分方法の改変を含めた論点になるかと思えますけれども、そういった二本立ての調査を当面進めていくという整理になろうかと存じます。

以上です。

○松浦敏司委員長 今、近藤委員からお話がありました。

この間、新聞報道もいろいろ出されていて、市民の間でもいろんな不安が広がっているというようなことはあるのだろうと思えますが、今、近藤委員のほうから言われました内容について、基本的な方向で進めていこうというふうには、今報告がありましたが、これについて何か、皆さんの御意見あれば伺いたいと思えますが。

○澤谷淳子委員 論点整理していただきまして、それで、もう既にやっている地域にリモートか、実際の視察かは別として、まず、初めにやっていこうというのが、広域化ということはテーブルにちゃんと上げて、そのことも論点になっているのですけれども、中間処理の在り方をまず現状をですね、これを

やるというので、最初に私、現状もうやっているとこの視察がしたいというのがちょっと一番にあったのですけれども、どこから取りかかりますか、視察というか。

○近藤憲治委員 まず、視察、中間処理の現場を見に行くとなると、相手方ありますので、今からお願いすると5月もなかなか忙しいスケジュール感ですので、現場に赴くのは、7月の参院選後がいいのかなと思います。広域化の手順なんかは講師の方に来てもらっての研修なり、それは速やかにしたほうがいいのかと思います。

○松浦敏司委員 いいですか、ほかに。

いいですか。

○金兵智則委員 前回の委員会、お休みをいただいていたので、前回までの議論の確認をさせていただきたいのですけれども、進め方として大きく2点というのはわかりました。

それで問題ないのかなというふうに思いますがけれども、もう1点が調査というのか、情報提供してもらうという形になるのかちょっとわからないのですけれども、懇話会のほうの進捗状況というのを、まあ、ちゃんと議事録とかも出てくるので、それぞれが調べていくのかもわからないのですけれども、例えば、現行をどう延命させていこうかと、この委員会で一生懸命調査をはかる中ですけれども、わからないのですけれども、懇話会のほうで、これ以上ここは無理だというふうな結論、今までの方はもう大失敗でした、もう駄目です、次のやつを新しく造ってくださいみたいな、一方で延命させる気がないような、例えば方針が来た時に、こっこの委員会として、延命をさせていきましょよといったときに、どうするのだという、多分延命はさせるのでしようけれども、極論ですけれども、そうなったときもあるので、情報提供、懇話会の進捗状況を聞いていきつつ、その方向性で進めていくということが必要なのかなというふうに思います。

○松浦敏司委員長 懇話会については、今月できて……ちょっと僕は日程をつかんでいないので、今月内に、第1回の会議を開くのだろうと思っています。

それから年内に6回でしたっけ、懇話会をすることなので、そこは日程をしっかりと我々もつかんで、傍聴もできますので、そういった状況を見ながら、それも、今、金兵委員から言われたように、所管事務調査の中で取り入れていくというようなこ

とも考えたいというふうに思います。

いずれにしても、我々の任期があと1年です。

ですから、時間があるようでないという中で、やっぱり我々、この残された1年の間で、どう網走のごみ処理場、ごみ処分について、あるべき姿というのを追求していかなければならないというふうにも思っていますので、そういったことで今、近藤委員が言われたように、現場の視察となれば、やっぱり7月の参議院選挙以降ということになります。

近辺でいうと、遠軽とか紋別とかもあります、紋別は今度、市議選が7月の下旬に投票日ということもありますので、そういった日程、いろいろあります。

あと、講師を招いてオンラインであれば、比較的5月中にできる可能性もありますので、そういったことも含めて、また、正副のほうで、取りあえず急ぐとすれば、5月の段階でやるとすれば、講師の方に直接来ていただくか、もしくはオンラインでやるかというようなことで検討したいというふうに思います。

ということで、また正副のほうでもう少し詰めて、そして皆さんのほうにお知らせしていきたいというふうに思いますので、そういった方向で今後進めていくということでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、そのような方向で、今後所管事務調査を行っていくということで、皆さんの御了解をいただきました。

それでは、これをもちまして文教民生委員会を終了してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ではそのように、終了いたします。

御苦労さまでした。

午後0時37分閉会
